

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 1	3	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	→ 0	0	ヘルパンギーナ	↑ 222	195
咽頭結膜熱	↑ 41	25	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↓ 34	44
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↓ 41	53	急性出血性結膜炎	↓ 0	1
感染性胃腸炎	↑ 225	204	流行性角結膜炎 (はやり目)	↑ 28	18
水痘	↑ 25	18	細菌性髄膜炎	↑ 2	0
手足口病	↑ 20	13	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↑ 5	2	マイコプラズマ肺炎	↓ 3	4
突発性発しん	↓ 36	42	クラミジア肺炎	↓ 0	2

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- 咽頭結膜熱
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

●感染性胃腸炎は、報告数 225件(前週報告数 204件)と増加。地区別では、有明、人吉、山鹿に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の39件を最多に幅広い年齢層からの報告である。

●ヘルパンギーナは、報告数 222件(前週報告数 195件)と増加。地区別では、天草、菊池、水俣に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の68件を最多に主に14歳以下からの報告である。

●咽頭結膜熱は、報告数 41件(前週報告数 25件)と増加した。地区別では、菊池、天草、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の8件を最多に主に9歳以下からの報告である。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数 41件(前週報告数 53件)と減少。地区別では、人吉、熊本、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、3歳、4歳、7歳の6件を最多に主に14歳以下から報告されている。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			16	21	59	12	5		15		56	6		27		1	2	
山鹿保健所			1		12		5	3	2		4		*	*				
菊池保健所	1		15	5	23	2	9	1	5		43	1		1				
阿蘇保健所					5						1		*	*				
御船保健所					5						3	1	*	*				
八代保健所				2	22	5		1			17							
水俣保健所					4				6		13		*	*				
人吉保健所				9	20	2			1		6		*	*		1		
有明保健所			3	1	54	2			2		10	4			1		1	
宇城保健所			1	2	15	1	1		3		16	9						
天草保健所				5	1	1			2		53	13						
計	1	0	41	41	225	25	20	5	36	0	222	34	0	28	2	1	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	1																				1	
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	41		1	7	6	4	8	7	5	1		1			1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41			2	1	6	6	3	5	6	4	3	4		1							
感染性胃腸炎	225	7	29	39	26	28	18	14	8	11	11	9	12	1	12							
水痘	25			6	4	6	6	2	1													
手足口病	20		1	5	3	2	3	3	2			1										
伝染性紅斑	5		2	1			2															
突発性発しん	36	1	21	12	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	222	1	26	68	39	24	21	13	10	5	5	4	3		3							
流行性耳下腺炎	34			5	2	4	10	3	5	1	1		2	1								
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	28			1	2		2	1	1				1	2	1	6	4	3	3	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	2			1										1								
無菌性髄膜炎	1							1														
マイコプラズマ肺炎	3		1	1	1																	
クラミジア肺炎	0																					

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- 感染性胃腸炎：有明、人吉、山鹿
- ヘルパンギーナ：天草、菊池、水俣
- 咽頭結膜熱：菊池、天草、熊本
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：人吉、熊本、菊池

咽頭結膜熱(プール熱)が増加中です

今週の報告数は41件で、過去3年間で最も多く、特に菊池地域では11週流行が続いています。潜伏期を経て、発熱、のどの痛み、目の充血等の症状が出ます。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。一般的には3~5日で軽快しますが、この病気を引き起こすアデノウイルスには、たくさんの種類があることが知られており、7型と呼ばれるウイルスの感染では、時に重症化することがあります。症状がみられたら、安静にしてかかりつけの医師の診察を受けてください。

流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行し、感染者との濃厚な接触を避ける等感染予防に努めてください。咽頭結膜熱は、消毒が不十分なプールを介して子どもの間で流行することがあるため、「プール熱」とも呼ばれることもあります。プールの利用に際しては水泳前後にはシャワーを浴び、タオルの共用を避ける等の注意が必要です。熱が下がってもまだウイルスはいますので、症状が治まって2日間は、学校や保育園は休ませましょう。

